

実践『ペルソナ』通信 (No. 55)
「実践女子大生におけるクリアファイルの使用実態」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、実践女子大学生を対象に、「実践女子大生におけるクリアファイルの使用実態」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は95サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

プリントやルーズリーフが多い大学生が、どのようなクリアファイルを使用しているのかBe面から立てた仮説をもとに95人に調査を行った。

全体の結果として、キャラクター無しの中身が見えるタイプに講義関係なく収納している1枚のクリアファイルを持ち歩いていることがわかった。また使用期間は「1年以内」が多いが、2、3番目が長いことから買い替えにくいということもわかった。しかし中が見えないタイプを使用している人は、「プライバシー」を気にしている人が多いのでこれからも変わることは無いだろう。

以上から就活生用のクリアファイルを新規提案する。

調査結果のポイント

仮説検証

(1)複数持つよりも1枚でまとめている人が多い→○1枚でまとめている

Be面より1枚持ち64.8%・複数枚持ち35.2%であったため、1枚持ちの人の方が多いことがわかった。ここから複数枚持つよりも1枚持ちの方が多いと仮説をたて、「1週間で1番講義が多い日に何枚クリアファイルを持って持ち歩いているか」で調査した。この結果として、1枚と回答した割合が53.8%と多いことがわかった。また仕切りの無いタイプを使用している割合が63.3%と高く、その多くが講義ごとに分けていないこともわかった。このことから、1枚のクリアファイルに様々な講義を一緒に入れているという結果になった。

(2)キャラクター無しの中の見えないものが多い→△キャラクター無しであるが中が見えるタイプが多い

Be面よりキャラクター無しのクリアファイルを持ち歩いている人が51.9%であり、その中でも柄や色付きなどで中が見えない仕様のものを使用している人が多いことがわかった。

このことから、キャラクター無しの中でも中が見えないようなクリアファイルを選んでいると仮説をたて

て、「主に使用しているクリアファイルはどのような見た目であるか」を調査した。この結果として、透明で中身が見えていると回答した割合が38.5%と多いことがわかった。また、「クリアファイルの中身が他人に見られる抵抗感があるか」で調査した。その結果、抵抗感がないと回答した割合が63.7%と多かった。さらに、「クリアファイルを買う時はどの色を好むか」を調査した。その結果、特に気にしないと回答した割合が31.9%、白・透明系と回答した割合が28.6%であった。このことから、透明で中身が見えているクリアファイルを使用しており、色は特に気にしていないという結果になった。

(3) クリアファイルはなかなか買い替えない→○破れるまで使うため買い替えにくい

Be面よりクリアファイルが、破けていたり、跡がついていたり、使い古されていることが分かった。このことから、クリアファイルは1度購入したらなかなか買い替えないのではないかと、仮説をたてて、「一番長く使用しているクリアファイルの使用期間」について調査をした。この結果として、一番長く使用しているクリアファイルは、1年以内と回答した割合が29.7%、3年以内と回答した割合が18.7%、続いて4年以上と回答した人が16.5%と比較的長期間使用していることが分かった。このことから、クリアファイルは買い替え頻度が低く、同じ物を使い回していることが分かった。また、「クリアファイルを買う時の目安は主にいつ頃か」を調査した。この結果として、「破れたら」と回答した人が54.9%と一番多かった。以上のことから、クリアファイルは破れるまで使い、ファイルとしての機能に支障をきたすようになると、買い替えるという結果になった。

調査結果について

調査概要

調査対象	実践女子大学学生
調査方法	Googleフォームを用いてのインターネット調査
調査期間	2018年1月6日～2018年1月8日
有効回答数	95人
回答者の属性	【学年】1年：10.5% 2年：17.9% 3年：71.6%

本調査担当チーム

実践「ペルソナ」研究会

3年 長田里菜 川俣理沙 高橋有里沙 大堂愛花

(1) 9割以上がクリアファイルを使用

大学にクリアファイルを持ってきているか尋ねたところ、95.8%の学生が持ってきていると答えていると回答した。この学生に対して、以下の調査を行った。

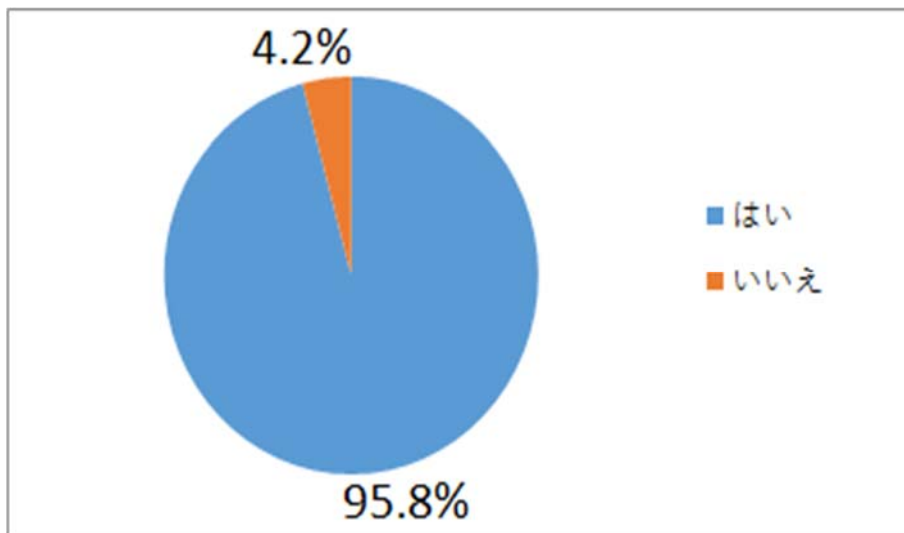


図1. 大学にクリアファイルを持ってきているか (n=95)

(2) 1枚を持ち歩いている人が5割以上

1番講義が多い日に何枚のクリアファイルを持ち歩いているか、尋ねた。その結果持ち歩いているクリアファイルは1枚と回答した割合が53.8%と1番多く、枚数が増えるごとに割合が減っていることがわかる。このことから、多くの人は1枚のクリアファイルでまとめていることが考えられる。

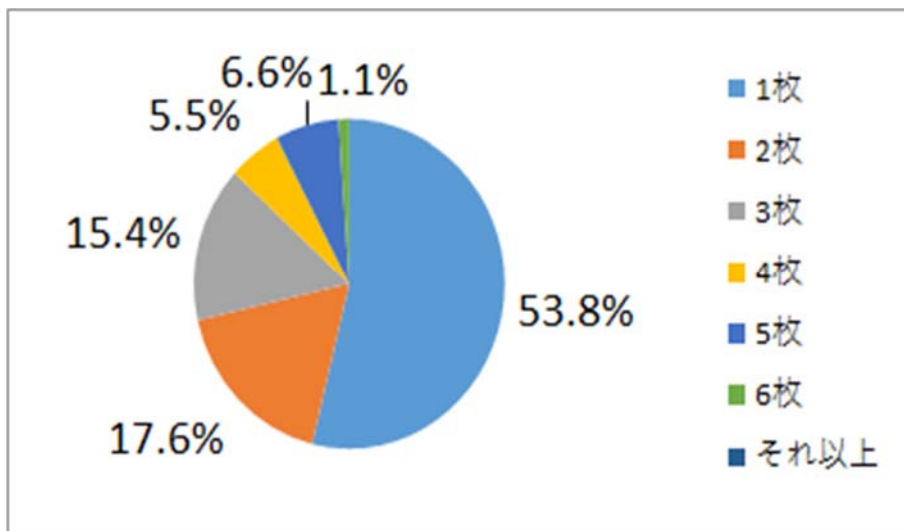


図2. 1番講義が多い日に何枚のクリアファイルを持ち歩いているか (n=91)

(3) 仕切りの無いタイプを使用しているのは7割近い

1番講義が多い日に使用しているクリアファイルのタイプについて、尋ねた。その結果、仕切りの無いタイプと回答した割合が68.1%と多く、仕切りのあるタイプと回答した割合は29.7%であった。またそれぞれの枚数ごとに見ても仕切りの無いタイプを持ち歩いている割合が多く、1枚持ちでの割合は63.3%であった。

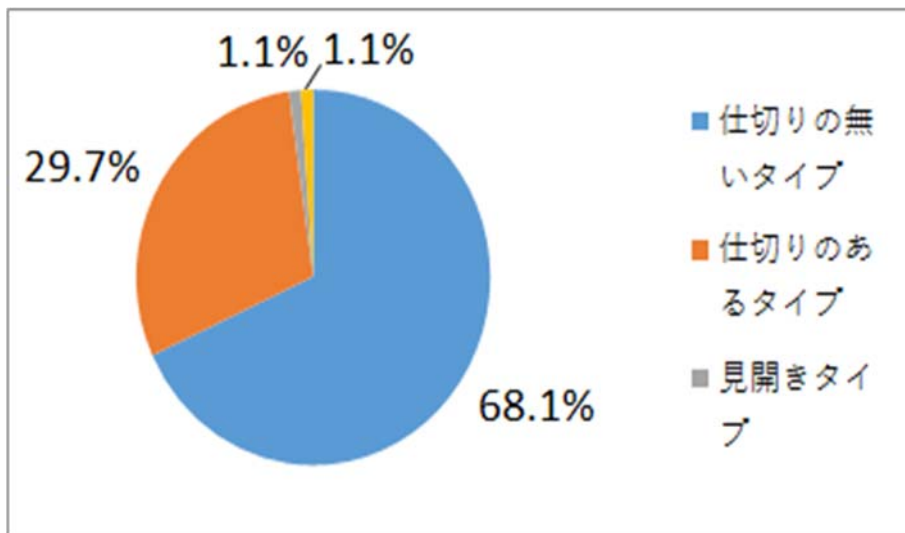


図3. 1番講義が多い日、主に使用しているクリアファイルのタイプ (n=91)

(4) 講義別に分けていない人が6割近い

講義ごとに別のクリアファイルにまとめているか、(3)で仕切りの無いタイプと回答した62人に尋ねた。その結果、いいえと回答した割合が59.7%となった。枚数別に見ると1枚持ちのほうが分けていない割合が高く、持ち歩き枚数が多いほど講義別に分けていることがわかった。しかし全体的に見ると、仕切りの無いタイプのクリアファイルに1番講義が多い日でもまとめて入れていることがわかった。

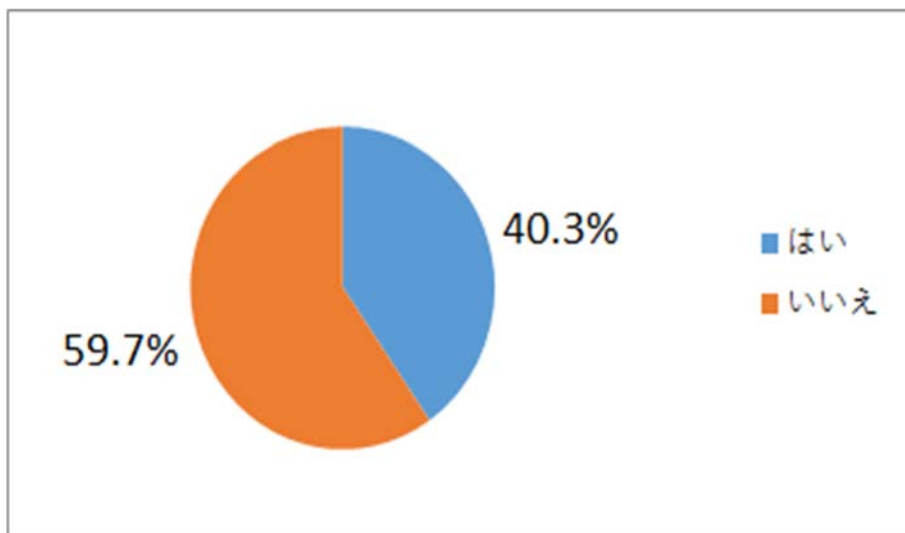


図4. 講義ごとに別のクリアファイルにまとめているか (n=62)

(5) 透明なクリアファイルの使用率が高い

主に使用しているクリアファイルはどのような見た目であるか尋ねた。その結果、透明で中身が見えていると回答した人が38.5%と一番多く、続いてキャラクターと回答した人が30.8%と二番目に多かった。

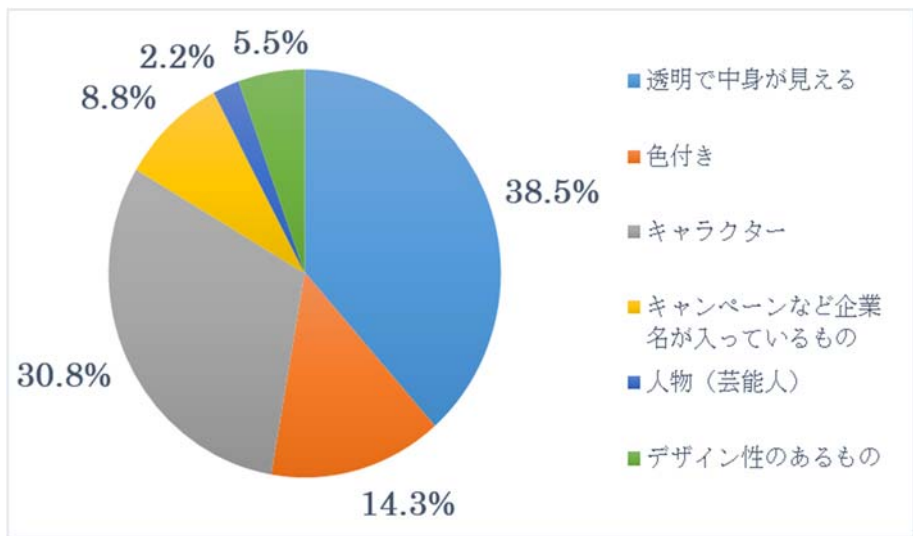


図5. 主に使用しているクリアファイルはどのような見た目か (n=91)

(6) クリアファイルの中身を見られる抵抗感はない人が6割

クリアファイルの中身が他人に見られる抵抗感はあるか尋ねた。その結果、抵抗感があると回答した人は36.3%、抵抗感がないと回答した人は63.7%で、中身をみられることに抵抗感がない人が多かった。また、抵抗感があると回答した理由には、「個人情報が入っているから」「文字や内容を見られたくない」ということが多く挙げられた。

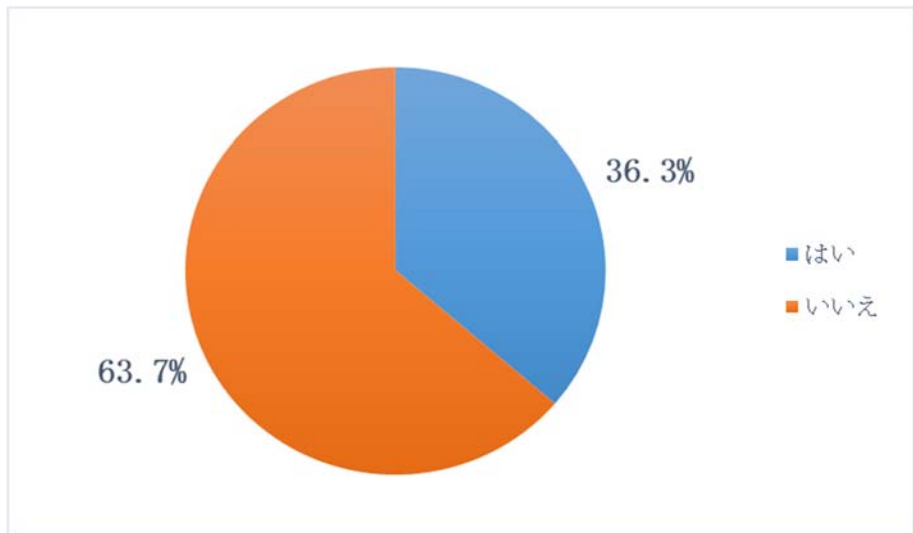


図6. クリアファイルの中身が他人に見られる抵抗感があるか (n=91)

(7)色は気にしていないが、白・透明系が3割近い

クリアファイルを買う時はどの色を好むか尋ねた。その結果、特に気にしないと回答した人が31.9%と一番多く、続いて白・透明系と回答した人が28.6%と二番目に多かった。

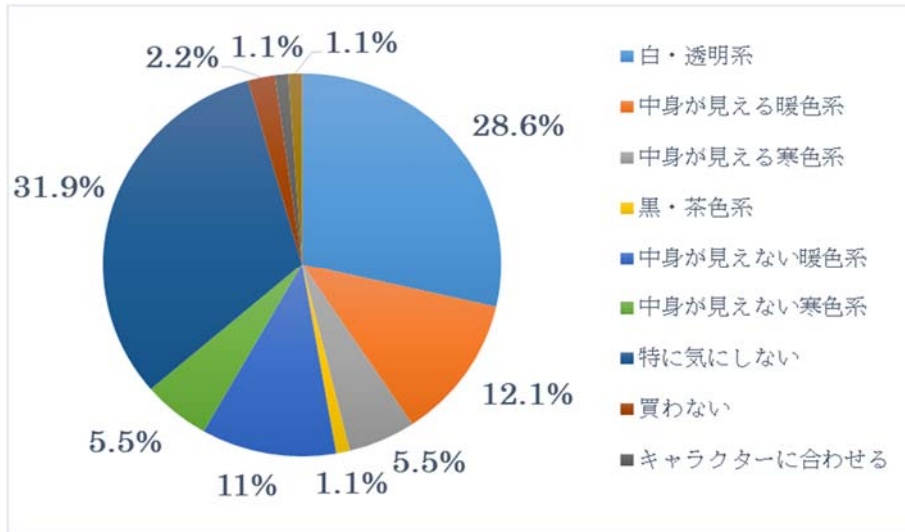


図7. クリアファイルを買う時はどの色を好むか (n=91)

(8)クリアファイルに容れてる量は11~20枚が4割

クリアファイルに入れているプリントの量について尋ねた。その結果11~20枚が40.7%と多く、続いて21~30枚と回答している割合が多かった。選択している講義によって異なると思うが、大体11~20枚が入れられていることがわかった。

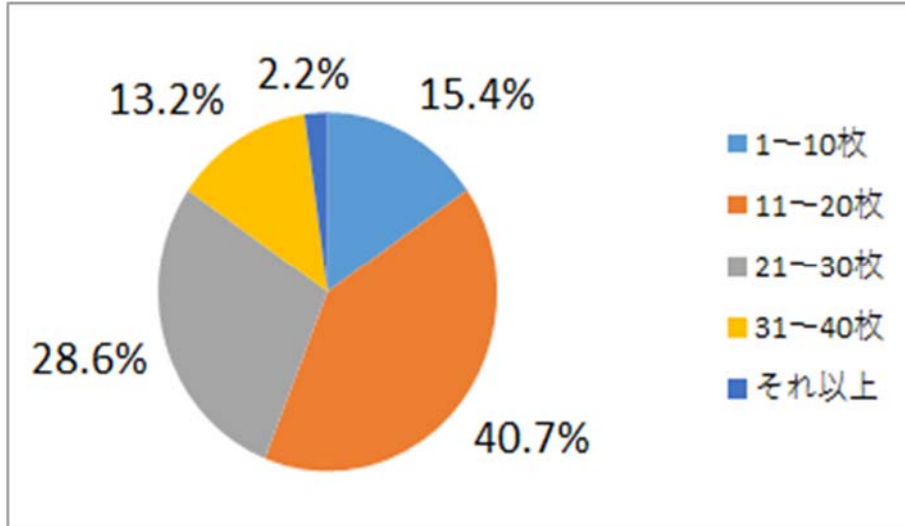


図8. クリアファイルに入っているプリント等の量 (n=91)

(9) クリアファイルの使用期間は「1年以内」

一番長く使用している授業用ファイルの使用期間について尋ねた。その結果、1年以内と答えた人が29.7%と一番多く、続いて3年以内と答えた人が18.7%と二番目に多かった。続いて、「4年以上」が16.5%、「2年以内」と「6ヶ月以内」が11.0%であった。このことから比較的、授業用クリアファイルは使用期間が長く、使い古されている物が多いことが分かった。

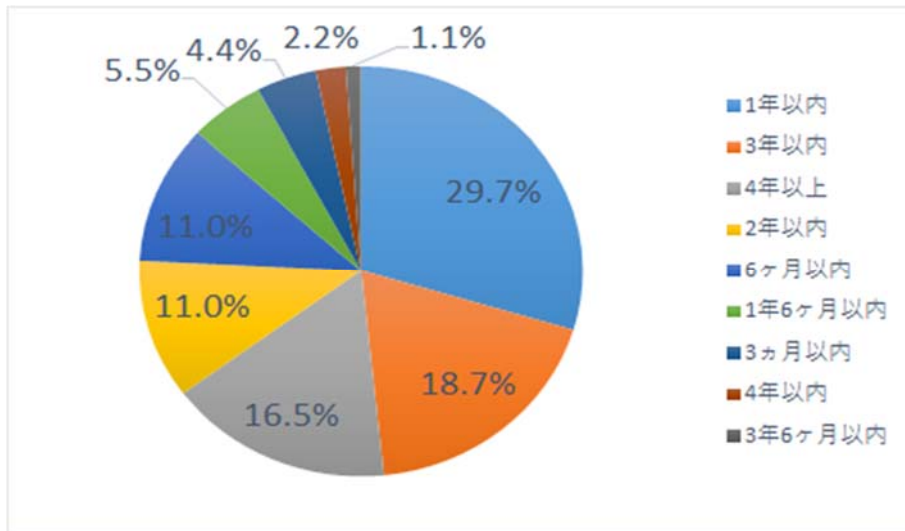


図9. 1番長く使用している授業用クリアファイル (n=91)

(10) クリアファイルを新しくする目安は「破れたら」がポイント

次に、主にクリアファイルを新しくする目安はいつ頃か尋ねた。その結果、「破れたら」と答えた人が54.9%と一番多かった。次に「資料が入りきらなくなったら」が16.5%と二番目に多かった。続いて、「学期ごとに合わせて」が13.2%、「無料で配布されたから」が6.6%、「新学年に合わせて」と「お気に入りのキャラクターが載っていたから」は4.4%という結果になった。このことから、クリアファイルを買う目安はファイルの破損具合にあることが分かった。

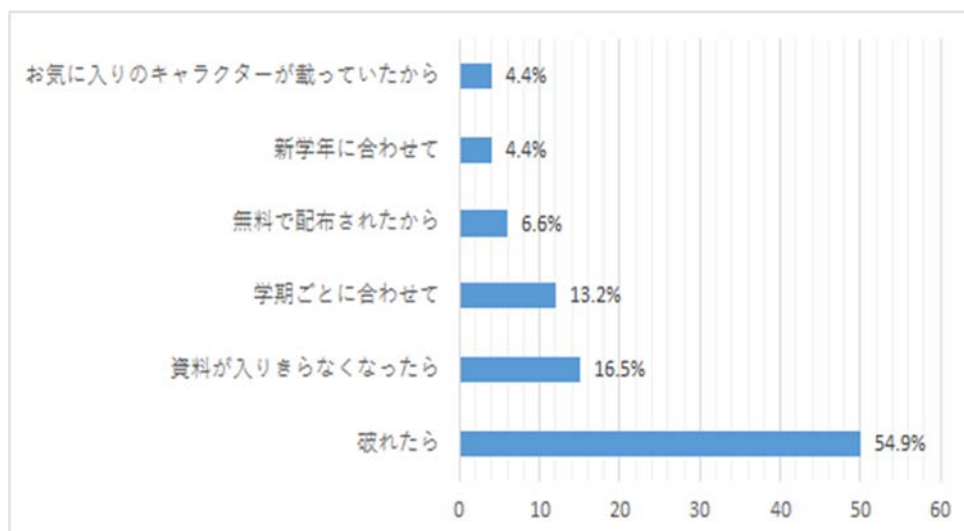


図10. 主にクリアファイルを新しくする目安はいつ頃か (n=91)

考察

今回の調査で、実践女子大生は9割以上の方がクリアファイルを使用していることがわかった。調査結果のポイントとして、複数のファイルを持つより1枚のファイルにまとめて持っている人の方が多く、ファイルの特徴としては、白・透明系で中身が見えるファイルを使用している人が多いことがわかった。また、使用期間については、1年以内と回答した人が最も多く、ファイルを買い換える頻度は低いことがわかった。ファイルを買い換える目安については、「破れたら」と回答した人が半分以上を占め、ファイルの機能に支障をきたすようになると買い換えるということがわかった。

この調査を踏まえて、就活用のクリアファイルを1枚提案する。サイズはA4サイズとする。このファイルの特徴は4つある。1つ目として、ファイルの色は多くの人好みやすい透明系で中身が見やすいものにする。2つ目は、マチ有りのファイルである。マチがあることで、多くの資料を入れることができ、資料を入れすぎることによって破けてしまうという点を解消することができる。マチの幅は、最低20枚はキレイに入る幅を考えている。3つ目は、チャック付きのファイルである。ファイルにチャックを付けることにより、大事な資料や紛失しやすい小さいもの（履歴書の証明写真や名刺やメモ）を入れ、紛失を防ぐことが狙いである。4つ目は、下敷きに使える硬い板である。この下敷きがあることにより、立ちながらも文字が書きやすく、メモしやすくなるを考える。また、この下敷きに色をつけ、白・黒・紺の3種類のカラーバリエーションを展開する。以上4つの機能を備えたクリアファイルを開発することで、就活時に役立つものになるを考える。

以上が「実践女子大生におけるクリアファイルの使用実態」調査チームの調査結果と提案である。